

令和元年度 東京都「学力向上を図るための調査」結果についてⅠ 正答数分布

学力調査結果の公表の考え方

義務教育の目的は、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことにある。本市における、この義務教育の目的の学力面での達成状況を明らかにするため、学力調査の結果に基づき、(1)基礎的な学力の定着状況と、(2)児童・生徒の一人一人の学力の伸長の度合いを市全体及び学校ごとにまとめ公表する。また、この調査結果を、今後の教育活動の一層の改善・充実を図っていくための基礎資料とする。

◆現状・課題

【概要】
○平均正答率は、小・中共に全教科で都平均を下回った。
○観点別調査結果では、小学校国語の「話す・聞く能力」において東京都の平均を上回ったが、他は下回っている。
○同一集団による伸び率は、国語、算数(数学)、理科で高くなっている。特に理科の伸び率が高い。

【各教科の課題】
《国語》小学校では、「読む能力」に課題が見られた。特に、場面の様子に気を付けながら、物語の全体を捉える問題は、6.8ポイント低かった。中学校では、「書く能力」に課題が見られ、自分の文章の校正や校閲に関わる指導の充実を図る必要がある。
《社会》小・中共に、「社会的事象についての知識・理解」に課題が見られた。小学校では、47 都道府県の名称と位置を理解する問題が9.5ポイント、中学校では、鎌倉時代の政治体制について、他の時代と比較したり関連付けて捉える問題が8ポイント下回った。
《算数》小学校では、「数学的な考え方」に課題が見られ、図と表と式とを相互に関連付けて数量の関係を捉えさせる必要がある。中学校では、「数学的な技能」に課題が見られた。特に、正負の数の除法と等式の変形をすることが東京都の平均より7.5ポイント以上下回った。
《理科》小学校では、「自然事象についての知識・理解」に課題が見られ、学習で身に付けた知識を実際の自然や日常生活に当てはめて考えさせたり、科学的な言葉や概念を使用して説明させたりする指導の充実が必要である。中学校では「科学的な思考・表現」に課題が見られた。特に、断層、しゅう曲について大地の変動と関連付けて考える問題が4.3ポイント下回った。
《中学校英語》「言語や文化についての知識・理解」に課題が見られた。中でも、do,doesの用法の理解では、都平均を14.3ポイント下回った。

◆平均正答率(%)

※()内は、都平均

教科 市・都	国語	社会	算数 数学	理科	英語
小学校	65.3 (67.0)	61.8 (66.3)	54.8 (60.0)	52.9 (56.6)	
中学校	70.3 (71.9)	47.5 (51.1)	51.8 (54.5)	48.8 (49.5)	53.9 (57.5)

◆観点別調査結果の平均正答率(%)

観点 教科	話す・聞く	書く	読む	言語についての 知識・理解・技能
国語(小)	66.3 (65.9)	69.4 (70.4)	64.0 (67.1)	64.0 (65.9)
国語(中)	73.0 (74.8)	55.2 (58.9)	77.7 (79.3)	68.1 (69.1)

観点 教科	思考・判断・表現	技能	知識・理解
社会(小)	58.9(63.1)	62.3(66.5)	64.5(69.8)
社会(中)	44.8(48.7)	59.5(61.9)	36.2(41.1)
算数(小)	39.7(46.4)	60.8(65.2)	62.8(67.8)
数学(中)	29.6(31.4)	58.7(62.4)	61.3(63.3)
理科(小)	50.3(52.9)	63.7(66.4)	50.0(55.0)
理科(中)	42.3(43.9)	60.0(60.2)	47.1(47.4)

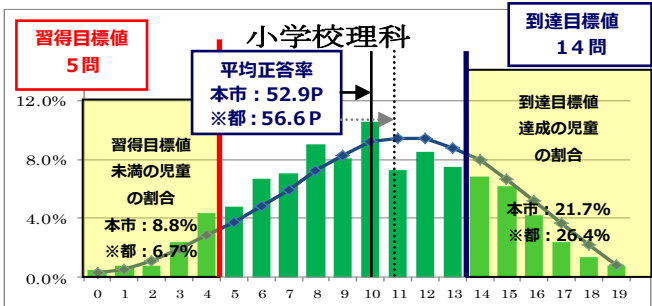
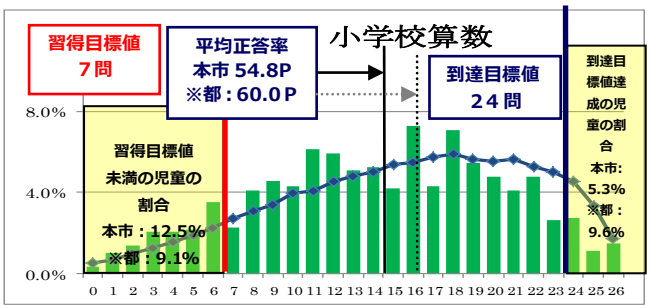
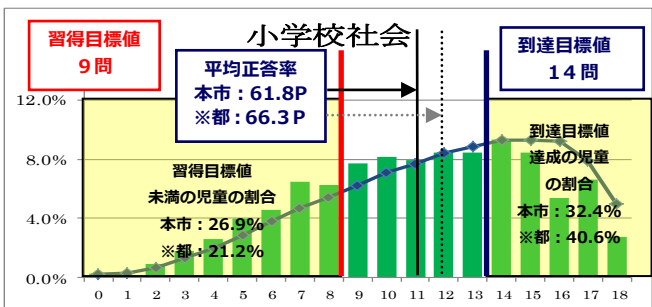
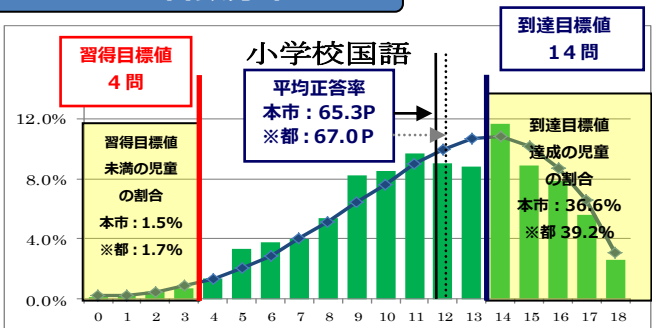
観点 教科	外国語表現	外国語理解	言語や文化についての 知識・理解
英語(中)	60.3(62.4)	42.1(46.1)	53.0(59.2)

◆全国の平均正答率との割合(%)

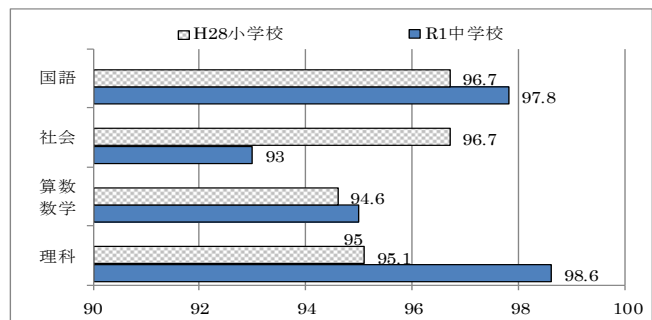
同一集団(平成28年度小学校5年生、令和元年度中学校2年生)における伸び率(東京都の平均正答率を100としたときの割合)

教科	平成28年度	令和元年度
国語	96.7	97.8
社会	96.7	93.0
算数・数学	94.6	95.0
理科	95.1	98.6

◆正答数分布



◆伸び率



調査対象学年: 小学校第5学年及び中学校第2学年
棒グラフ: 東久留米市 折れ線グラフ: 東京都
縦軸: 児童・生徒数の割合(%) 横軸: 正答数(問)

